

令和2年度 第2回 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

開催日時	令和2年12月4日(金) 午前10時～正午		
開催場所	西尾市役所 21 会議室		
出席者	【会長】		
	日本福祉大学	国際福祉開発学部教授	千頭 聡
	【審議会委員】		
	西三河農業協同組合	企画室長	黒野善久
	連合愛知三河中地域協議会 西尾地区連絡会	議長	長谷憲央
	西尾市観光協会	専務理事	森 隆司
	西尾商工会議所中小企業相談所	所長	若杉真吾
	西尾信用金庫	お客様支援部長	樺山幸彦
	矢田つばみ保育園	園長	黒木洋子
	【事務局】		
	総合政策部企画政策課	課長	高須清和
	総合政策部企画政策課	課長補佐	藤井己代秀
	総合政策部企画政策課	主任主査	下村幸成
	総合政策部企画政策課	主任主査	山崎高志
【総合戦略策定支援業務受託事業者】			
ランドブレイン株式会社		松波克登史	
欠席者	NPO 法人やらまいか人まちサポート	理事長	牧野明広
	西三河漁業協同組合	総務部長	稲垣志乃武
	株式会社キャッチネットワーク	代表取締役副社長	山田達也
内容	1 開会及びあいさつ 企画政策課長よりあいさつ 続いて千頭会長あいさつの後、同会長が議長（議事進行）となり、議題に入る。		
	2 議題（1）西尾市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案について 事務局より説明 〈会員からの主な意見〉		
	【樺山委員】 16.5万人の目標は第1期の時と同じか。また、県の計画があったと思うが、県の内容は踏まえているのか。		
	【事務局】 第1期は、16.6万人で、それほど変わらないが、前回は合計特殊出生率が、2.07と仮定したので、中身は大幅に違う。県の計画では明確な目標とするような指標としては設定されていない。		
	【若杉委員】 合計特殊出生率2.07を達成している自治体はあるか。		
	【事務局】 小さい町ではある。近隣では、刈谷市で1.8となっている。		
	【千頭会長】 超えているのは沖縄の町くらいだと思う。		
	【事務局】 安城市も西尾市より高く、県内の同規模では小牧市と西尾市が同じくらい。		

【千頭会長】

8頁の分析で、子育て世帯の転入があり、大卒時に男性は増加が少なく、女性の転出が多いのが西尾市の特徴であるが、市内の男性が結婚するときに、転出せず、市内で市外の女性と結婚して市内に住んでいるのではないかと。

そうであれば、その層が必要とする住宅整備が必要になる。西尾は恵まれている。刈谷、安城と比較しているが、そこと比較できるのは西尾市くらい。他の市町では比較さえできない。西尾はよい意味で特別な状況である。

【長谷会員】

旧町の課題が記載されているが、そこにも人口を増やす策を講じるのか。

【事務局】

旧三町は人口減少に伴い、土地も安くなっている。公共交通も脆弱で、対策として、いこまいカー等を展開している。地価が安いので外国人が家を購入するケースが目立ってきている。外国人との共生は課題として考えている。

【長谷委員】

家をたてると防災、減災がポイントになり宅地整備は重要である。

【事務局】

デンソーの進出もあり、上横須賀のまちづくりを考えていく方向性にある。

【縦山委員】

公共交通の課題があるが、どこかで出しているか。

【事務局】

具体的施策としては、戦略に位置付けている。

【千頭会長】

人口ビジョンはこのような方向でいくということで、人口はCの推計で目指すということでよいですね。では、議題の2の説明をお願いします。

議題（2）第2期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について
事務局より説明

〈会員からの主な意見〉

【千頭委員】

何のために取り組むのか、まちの目標に資するかどうかの大事。6ページの政策目標の観光入込客数は、無料の施設への観光客も含めた数値か。

【事務局】

そうです。コロナの影響もあり、450万人の達成は難しいかもしれない。

【千頭会長】

無料も含めた入込客数、統計を政策目標にするのは制度の問題もあり、ちょっと辛いかもしれないが大丈夫か。

【事務局】

担当課と相談しているが、現時点ではこの数字を設定します。観光基本計画ありきになるが、時代に即して柔軟に対応していきたい。

【森委員】

「まち」については、交流人口、観光に資する部分が多い。観光協会が茶摘み、西尾かき氷などやってきたが、数字は把握できていない。外国人を含む宿泊客数の数値をとっているのは、吉良温泉のみである。駅前アクセスインは入っていない。指標としてはこれしかないと思いつつも、次にとるときに、どのような形でとるのかを考えてほしい。魅力創造について、既存のものにプラスアルファを加えることで新しい魅力になる。

【千頭会長】

佐久島は臨時便はだしているのか。

【事務局】

コロナ後、落ち込んだが、今は、それなりに賑わっている。担当部署は、平日や閑散期に、学生と連携して伸ばしたい意向がある。

【森委員】

ピーク時にいかに受け皿をつくり、人に来てもらうかが、手っ取り早い。

【千頭会長】

佐久島はお金を落とすところが少ない。飲食店ももう少しあるとよい。

【樫山委員】

10 ページにある、観光プロモーションの推進が継続事業としてあるがこどもの国に関する記述が出てこない。ここに出せない理由はあるのか。

【森委員】

こどもの国から幡豆の海は冒険王国として魅力を創造したいが、実行力のある人が必要であり、難しい。調査や専門家を呼ぶことはできる。

【樫山委員】

前回の施策の効果はあったのか。また、こどもの国は記載できないか。

【事務局】

細かい把握はできていないので、確認しておく。こどもの国は県の施設であり、非公式ではあるが、有効活用を検討はしている。

【樫山委員】

人口ビジョンで、コンパクトシティがでてきたが、駅中心のコンパクトシティは避けて通れない。中心市街地活性化計画などもあったと思う。駅西は、コンベンション、西尾城も含めて、環境は整いつつあるので、チャンスだと思う。施設の的にも公共福祉的な整備などがあるとよい。

【事務局】

都市計画の面も大きく、都市マスも次年度見直し予定なので担当課には伝える。中心市街地活性化計画は旧西尾で作ったものがある。現在は認定計画だが今後必要という意見もある。近い将来つくることもありえる。

【若杉委員】

人口ビジョンの展望であげた目標のうち、定住にリンクする政策目標が見当たらず違和感がある。

【事務局】

設定しづらい。佐久島で実施しているが、定住はハードルが高いので、指標の設定については慎重に検討したい。

【若杉委員】

安城、刈谷と比較して、子育て世代が増えているので、そこを活かすことで魅力が上がると思う。

【事務局】

人口ビジョンと戦略の策定過程で、刈谷と安城に対する強みがわかってきたので、今後検討していきたい。土地も安いのでそこを有効策として具現化できるよう努めていきたい。

【千頭会長】

目標2の方向2にリンクするような指標が今後検討できるとよい。

では目標2について、意見を。

【黒木委員】

矢田地区は増えており、安城や刈谷、豊田に通勤している人もいる。西尾が住みやすいとして選ばれているのはよいこと。

よい面を充実させ、地域がわだかまりのない取組ができるとよい。

【千頭会長】

例えば、保育園でお迎えの時に、なぜ西尾に住み続けているのかなどのアンケートを取れるとよいかもしれない。

マルチカルチャーキャンプ事業は具体化できるのか。

【事務局】

地元大学生と連携して、令和4年度から実施できるよう進めている。交付金やSDGsなどと絡めていければと期待している。

【縦山委員】

15ページの図書館のカードの登録率の基準値、40%は発行率か。

【事務局】

貸出カードの登録率で、18歳までの人口に占める割合。西信さんとの連携で高めていきたい。

【縦山委員】

小中学生が使ってほしいとの思いがあるが、それでも60%くらいまでしかいかないのか。

【事務局】

あまり目標が高すぎて数字に縛られるのは良くないので、段階を踏んでいきたい。学習意欲につながることで、上を目指していく。

【千頭会長】

新規で、幼稚園のICT化があるが、子どもが何か持っているのか。

【黒木委員】

保護者にQRコードを渡している。慣れるまで大変だが、保護者も慣れてきている。金銭面の問題もあるが、今後、色々と活用できるとよい。

保育士の負担軽減にはつながっている。

【千頭会長】

多様な人材の活躍で、マルチカルチャーキャンプはよい取組だと思う。

また、外国人への視点が、日本語が下手という印象だが、特技を持っているので、それを活用する考えがあるとよい。私の学生にも外国人はいるが、能力は高く、日本語が下手で活かされていないだけ。地域の祭りなども運営に入るとすごく違うところもあるので、そのような視点があるとよい。

では目標3について、意見を。

【縦山委員】

26ページの新規事業にある、地元の高校生はどこまで対象としているのか。地元企業に地元の子が入るイメージでよいか。

【事務局】

拡充の事業とセットで交付金の活用も視野に入れている。

【縦山委員】

企業誘致は他市町より優れており、実績もあるので、そこに地元の方が就職して欲しい。そこには連携していきたい。

【千頭会長】

大学生もリクナビなど大きなフェアに出展する企業を念頭に活動する。地元には小さいけれど、密着型の優良企業があるが、情報が届かない。

【縦山委員】

西尾の中小企業は頑張っている。今回のモノづくり300社のうちの、4社が市の企業で、市町村別で、大阪市、静岡市に次いで、全国3位である。それだけの企業が市内にあるので、情報発信はすべき。経済産業局も西尾を向いている、注目の中小企業は増えているので、うまく就職が繋がればよい。

【黒野委員】

25ページ、農業の人数は減っているが、面積は増えている。労働力のマッ

チング事業をJAでやっている。他市町では高齢者も働ける援農ボランティア事業をやっているが、西尾市でその意向はないのか。

【事務局】

援農ボランティア事業については、早急に担当課と検討し、掲載できるようであれば掲載する。

【千頭会長】

絶対数は少ないが、農業に興味のある学生は一定数ある。どのような思いで農業しているかアピールできると、学生の一部には必ず引っかかると思う。

【黒野委員】

いちご、きゅうりは儲かるので、国の補助を利用して、スマート農業やICTなどを使ったアピールができるとよいと思う。

【千頭会長】

最後、分野横断の取組について、意見を。

【縦山委員】

スポーツ施設の再整備で、市外からの誘客をどうするか。単独で収益が成り立つとよい。インフラを含め、市のバックアップのない取組になるとよい。

【事務局】

総合体育館の観客席を増やして、エアリービーズの試合増や、バスケの2部リーグを呼び、関係人口の増加や、その他の波及効果に期待する。

【森委員】

仕事で日中、西尾に来ている人は、大きなターゲットになり得る。その視点で、違う施策や分野横断的な取組ができたりするのではないか。

【千頭会長】

組合を通じて西尾をアピールすることはあり得るのか。

【長谷委員】

可能だと思う。

【千頭会長】

一度アプローチしてもよいと思う。

分野横断の取組を掲げたことはよいと思う。特にプロジェクト3は関心がある。推進する時にプロジェクトチームを作ったり、進捗報告の会議などの担保ができるとよい。

【縦山委員】

この計画に記載がないと、国の交付金の申請はできないのか。

【事務局】

申請できないが、毎年、計画の見直しはするので対応は可能。

【縦山委員】

SDGsの視点で、全庁的にその方向性を出しているのか。

【事務局】

研修はしたが、職員の意識は途上にある。それを身近なものに持っていきたい。西信さんとも連携していきたい。

【千頭会長】

戦略は5年間、変えないわけではなく、むしろ積極的に変えていこうとするものなので、アイデアをどんどん出してもらいたい。

本日の議論で、大きな修正はなかったと思うので、微修正は必要に応じて行い、私が最終案として、まとめることでよいか。(異議なし)

ではその他を事務局から。

事務局から今後のスケジュールを説明して終了。

